

広報 ぬまた

1

月号

2012.12.27 No.565

新年あけましておめでとうございます



12月6日（木）沼田小学校「巳年」の子どもたち

今月の主な内容

- ★新年ご挨拶・・・・・・・・・・2
- ★今年は「巳年」です・・・・5
- ★まちのニュース・・・・・・・・7
- ★こちら役場案内所・・・・14
- ★ふれあい I N F O・・・・15
- ★後期高齢者医療制度・・・・16
- ★平成23年度決算ほか・・・・18
- ★職員給与・職員数・・・・24
- ★沼田消防から（消報）・・・・28
- ★沼田警察署から・・・・29
- ★生涯学習ゆめっくる・・・・30
- ★図書館から・・・・・・31

町の公式ホームページにおいて、まちのニュースが随時更新されており、いち早くご覧になれます！

また、フェイスブックの公式ページも公開されていますので、町ホームページにある右記のボタンをクリックしてご覧ください。



謹賀新年

いつまでも
安心して暮らせる町へ



沼田町長 金平嘉則

明けましておめでとう
ございます。
町民の皆様におかれま
しては、希望にあふれる
平成25年の新春をお迎え
のことと心よりお慶び申
し上げます。

また、日頃から町行政
に対して温かいご理解と
ご協力をいただいております。
感謝とお礼を申し上げます。

年末には、震災復興

問題や環太平洋連携協
定（TPP）交渉参加問
題等の課題が山積する中
で、衆議院の解散、総選
挙が実施されたところで
す。

その結果、国民の厳し
い審判が下され、新しい
政権運営の枠組みが大き
く日本の将来に向けて変
化する中で、国民の期待
と不安が交差しておりま
す。

今後、国の施策がどの

ように変わり、このこと
が地方行政にどう影響を
及ぼすのか未知の部分が
多いところではあります
が、町としては、国や道
からの情報を得て来る平
成25年度の予算編成に向
けて、適切に対応してま
いりたいと考えておりま
す。

さて、私も町長に就任
以来2回目の正月であ
り、折り返しの年を迎え
ることになりました。

教育環境の整備につい
ては、沼田小学校校舎が
完成し、児童生徒は3学
期から新たな新校舎の中
で充実した学校生活が
送っていただけのもとな
と考えており、本年はグラ
ウンド等の外構整備を行
い完成にむけて整備を進
めてまいります。

本町の基幹産業であり
ます農業は、昨年は大雪
による融雪の遅れ等の影
響が心配されたものの6
月以降の好天により順調
に生育し、収量は平年を
上回る結果となり、また、
米価も平年を上回る状況
で推移したことから農業

所得も向上していること
ろであります。

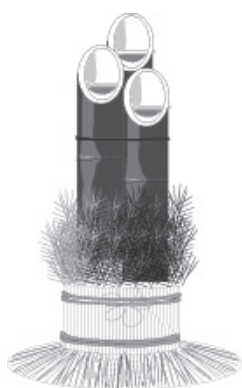
しかし、今後、環太平
洋連携協定（TPP）交
渉参加問題の動向によつ
ては農業を取り巻く環境
が厳しい状況になること
が予想されることから、
沼田の農業を守るために
関係機関と連携し、沼田
農業の更なる推進と農業
振興対策に取り組んでま
いりたいと考えておりま
す。

商工業においては、過
疎化による人口の減少、
また、町外への購買力の
流失等により厳しい経営
環境は変わらない中では
ありますが、昨年、商工
会が中心となり、農業者
と連携して取り組んだ
「夕市産業まつり」など
は、地域活性化と市街地
の賑わいを取り戻し事業
として期待をしております、今

後も商工業への支援を
継続していくことが重
要と考えております。

本年も、町民の皆様
のご期待に沿うよう、
強い信念と情熱を傾け
ながら私の町政執行の
基本であります「今住
んでいる人を大切にす
るまちづくり」の推進
のため、町民の健康づ
くりや福祉施設の整備
など10年後20年後の沼
田を見据えた町づくり
に取り組んでまいりま
すので、一層のご協力
とご支援をお願い申し
上げます。

結びに町民皆様にとつて、日々充実し実
りある年になることを
心から祈念申し上げ年
頭の挨拶とさせていただきます。



沼田町議会議長

杉本 邦雄



新春、御家族ご健勝で迎えられ、お慶び申しあげます。

昨年は冬の大雪で農作業の遅れが心配されましたが、雪解けも早く夏の好天に恵まれ、水稲においては品質も食味も良く全国から注目を浴び、二年連続の大豊作となり、地域経済の活性化に結びつくことを願うところであります。

一方国政の方は国の将来を見通せず、決断できない空白の二十年を過ぎ、震災復興・原発問題・消費税増・社会保障・経済政策やTPP・外交

防衛・政治改革等、積み残された政策課題から権力闘争となり、政党が分裂し第三極が絡んだ師走選挙となりました。

新しい年が日本にとって、国益や国民生活・地方分権政治等、早期に国政が将来像や具体策を示し課題解決に期待したいものです。

町政は第五次総合計画に沿って執行されています、中長期の具体的案件は政策推進室中心に計画中ですが、議会の方もまちづくり調査特別委員会、病院・老朽化公共施設の将来像等調査検討中です。

議会改革も何度か地方自治法の改正等がなされ、二元代表制の地方議会が重要な責任と役割を担う議会として改革を進めています。

議会活動もどんどん改革されておりチェック機能だけでなく、政策提案・町民説明責任等求められています、町民の皆さんの声が国や道そして町に届く様、今年も努力することを誓い挨拶いたします。

沼田町教育委員会
教育委員長

日暮 茂男



新年明けましておめでとうございます。皆様には、すがすがしい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年の教育委員会の諸行事には町民の皆様の積極的なご参加を戴き大きな成果を収めることができましたことに深く感謝とお礼申し上げます。

また、昨年は、2011年3月11日の東日本大震災と原子力発電所の爆発事故の被害からの復興の年と位置づけられ、まだまだ、道半ばという現実を見るにつけ、私達は、被害に遭われた方々の心情を片時も忘れることなく、今あ

る自分を有難く思い、人思いやるやさしさが育まれた年でもありました。

さて、12月には子どもたちが待ちに待った沼田小学校の校舎が完成し、3学期から使用します。庇護を受けて育つてゆく子どもたちのその未来に、大いなる期待と夢を持った町民皆様からの大きな大きな贈り物です。太陽の光（自然光）を十分に取り入れた斬新な学び舎です。光の中で草花が芽吹き、動物が育つように、子どもたちが先生のご指導を受け生き生きと学び自分の能力を発見し、鍛える場が整いました。

さらに、今年は、幼稚園・小学校・中学校の10年間を通した一環連携教育を進める元年と定めました。子どもたちが沼田町に生まれ育てられて良かったと言われる教育を、学校・家庭・社会の役割をはっきりさせ、三者のご協力のもと進めます。町民の皆様との生涯学習・学校教育へのご協力をお願いと健やかなる年であることを念じて、挨拶申し上げます。

沼田消防団長 渡邊 健三



輝かしい新年を迎え、町民の皆様に謹んでお慶び申し上げます。

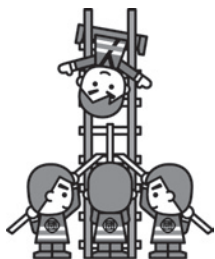
昨年は沼田町で2件（12月5日現在）の火災発生にとどまり、また被害も小さく済んだことは町民皆様の防火意識の高さであり、感謝とお礼を申し上げます。深川地区消防組合管内では平成23年の火災発生件数が13件と組合発足以来最少件数でありましたが、昨年は20件以上の火災が発生しております。今後は、火災発生を未然に防ぐためにも、火災予防、住宅用火災警報器の設置推進等を実施し無火災を目指して参りたいと

思います。

日本におきましては近年、大地震をはじめ大型台風、大雪被害など、町民の安全、安心を脅かすリスクは多様化するとともに、大規模化しており、消防や防災に対する関心はこれまで以上に高まり、救急救助活動など、災害時に第一線で活躍する消防に対する期待と信頼は大きなものとなっております。

今後は、悲惨な災害を未然に防止し、町民ひとりひとりが安心して暮らせる住みよい町づくりを目指し、地域住民の安全と郷土防災繁栄のため消防職団員が一致団結し全力で努力する所存であります。

終わりに、平成25年が町民皆様にとって良い年でありますよう、ご祈念申し上げます。ご挨拶と致



沼田警察署長 天野 正輝



あけましておめでとうございいます。

平成25年の輝かしい新春をご家族お揃いで健やかに迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

町民の皆様には、日頃から交通安全、暴力追放、青少年の健全育成や犯罪予防等の諸活動に対して、ご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年、国内では領土問題、復興予算執行の在り方、消費税増税に伴う政治混乱、衆議院解散による年末総選挙など混乱の一年でもあり、その一方、iPS細胞の開発研究による日本人研究者のノーベル賞受賞など難病治療等に大きな希望が開け

た年でもありました。

さて、昨年の治安情勢は、道内では交通事故や刑法犯認知件数の減少が続く中、高齢者被害の交通事故や振り込め詐欺被害が再び増加するなど予断の許さない状況にあります。

当初管内では、連続窃盗事件による犯罪被害の増加や交通事故の増加に加え、交通死亡事故ゼロ五〇〇〇日を目前に記録が途絶えたことは大変残念であります。しかし「交通死亡事故ゼロ宣言の町」として、気持ちを新たに交通安全に取り組む町民の姿は心強く感じます。

この様に、樂觀を許さない治安情勢を踏まえ、「犯罪や事故のない沼田町の実現」に向け、署員一丸となつて管内の治安維持に全力投球する所存です。

本年も警察活動に対するご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。むすびに、平和な一年となりますよう皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。ご挨拶と致します。

沼田弾薬支処長兼 沼田分屯地司令 岡本 斉



沼田町の皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年は沼田弾薬支処・分屯地の創立二十二周年記念行事に多くの方々にお越しいただきありがとうございました。

昨年は振り返りますと尖閣問題、弾道ミサイル問題、中国指導部の交代、反日デモなど政治、軍事上の脅威が改めて顕在化した年であったと総括できるのではないかと思ひます。

そして新年度においても我が国周辺における脅威は持続し、東アジアにおける安全保障環境は一層厳しさを増すとともに様々な事態が生起する可能性が増すものと認識しております。

このような環境下にあつて沼田弾薬支処・分屯地は北海道防衛を主任務とする北部方面隊、北海道補給処の一員として「何時、如何なる任務にも即応しそれを完遂する」実力と意志、そして執念が求められます。

そのため、今年度も方面隊が実施する総合戦闘力演習に積極的に参加し、有事における任務遂行能力の向上と行動の細やかな検証を行っていく所存です。

また、任務に集中するためには沼田町の皆様のご支援、ご協力、ご理解が不可欠であり、一層の連携が必要と認識しております。今後とも、沼田弾薬支処・分屯地に対するご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げますとともに、町民の皆様のご健勝、ご多幸を祈念し念頭のご挨拶とさせていただきます。



今年は「巳年」です

沼田町に住んでいる巳年の人は、全世代合わせて 265 名です。今回の広報めまの表紙は、平成 13 年生まれの元気な沼田小学校の生徒です。平成元年から昭和 4 年生まれの巳年の人には新年の抱負を語っていただきました。そして、巳年の人たちが生まれた年には沼田町で何があったのかもまとめてみました。あわせてご覧ください。

昭和 4 年生まれ



市内 3
篠田久雄さん

2013 年の新春を迎え、色々な課題がありますが、希望の年でありますよう祈念するところであります。

人生 7 回目の巳年を元気に迎えることができました。その上、自分の好きな仕事をさせていただいています事、無上の喜びであります。生まれて 84 年は多くの方の支えと助けられながら、人との出会いがありまして、今日があることを思う時、只ただ感謝であります。更に欲を言えば、生涯現役でいたい。それにはどうする事も出来ない運命がありますが、何より自己管理に尽きると思います。この点邪魔にならないよう心して、「陰徳陽報」、表に出るのではなく見えない処で善行が出来ればと思っています。

こんな思いの一端を申し上げ、皆様にとりまして、幸せ多い年でありますよう念願致します。

昭和 4 年、沼田町（当時は沼田村）では…

- 浅野、昭和両炭鉱開坑準備
- 浅野地区に自警団及び火防組合設立
- 沼田三吉神社設立（旭町）
- 北炭山林大火火、沼田市街上空まで火の粉飛ぶ

昭和 16 年生まれ



南町
松田行雄さん

平成 25 年の新春をご家族の皆さんご健勝でお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。今年は私にとりまして 6 度目の巳年を迎え、月日が経つのは早く感じております。

さて、私は沼田町で数多くのボランティア活動しております。又、自分の趣味として日本詩吟学院岳風会深川吟詠会沼田詩吟道場で詩吟を吟じ、招魂祭献納吟、文化祭などにでております。

それに、沼田雪中そば倶楽部の会員になり、夜高あんどん祭りの出店、ほたる祭りの出店、深川拓殖大学に依頼され講師として行くなど、そば打ちを楽しんでおります。

詩吟、そば打ちなど、出来るのは健康だからこそやれると思います。今年も体を 1 日 1 日大切に、元気で笑顔を忘れずに暮らしていきたいと願っております。

最後に、町民の皆様にとって、本年が幸せの多い年となりますと共に、ご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年巳年の抱負の一言としてご挨拶とさせていただきます。

昭和 16 年、沼田町（当時は沼田村）では…

- 村内の行政、警防、ほか団体等全般にわたり戦時体制実施
- 村内各小学校を国民学校と改称
- 各地域の男女青年団を統合、沼田村青少年団結成
- 浅野炭鉱ガス爆発（死亡 27 人、負傷 11 人）



昭和 28 年生まれ



市内 1 東
長野時敏さん

芦別市頼城生まれ、札幌、東京、道内各地を経て、ここ沼田町にお世話になって 5 年目を迎えます。沼田は、多くの小中学生・PTA・地域の皆さんとの素晴らしい出会いを通し、私の第二の故郷となりました。沼田の開祖、沼田喜三郎さんは、知れば知るほど魅力的な人物です。一昨年、小矢部市の人々から、「北海道開拓 100 年の歴史を大切にしたい」と言われ、それが「永遠のチャレンジャー『沼田喜三郎物語』紙芝居」の制作に繋がりました。この物語には、人と人の出会いを広げる不思議なパワーを感じています。3 月 9 日（土）、沼田の仲間の応援を得て、震災チャリティーうたの集い、第 1 部～「沼田喜三郎物語」スライドショー上演の運びとなりました。私の夢は、喜三郎物語の大河ドラマ化です。座右の銘は「笑ってほふく前進」の還暦、年男。今年もよろしくお願いします。

昭和 28 年、沼田町では…

- 国警旭川方面沼田地区警察署設置（1 月 1 日）
- 公営住宅の建設始まる
- 市街地商工青年振興協議会を沼田商工青年会議所に改組
- 人口 2 万人を突破。北空知 11 町村（合併前）中、戸口においては最高規模となる
- 沼田農協有線放送施設完成

昭和 40 年生まれ



仲町東

中村英司さん

皆さん、新年明けましておめでとうございます。昨年は、多くの皆様方大変お世話になり、心よりお礼申し上げます。私にとって、4 度目の巳年を迎えることになり、改めて月日の経つ早さに驚いています。

昨年は、私自身怪我もなく健康で日々の消防業務の任務を遂行できた事は家族の支えがあったお陰と感謝しています。また、隊員相互と家族の絆の大切さ、一人の力では何も行えないもどかしさも痛感いたしました。

本年は、自分にとって最大の目標となる「人を勇気付けられる自分」を目指し日々精進していきたいと考えております。また、悲惨な災害を未然に防止し、町民の生命・財産を守り、町民の笑顔が増える町になるためにも全力で努力する所存であります。

新しい年を迎え、町民皆様にとって素晴らしい一年になりますようにお祈り申し上げます。

昭和 40 年、沼田町では…

- 国民健康保険金被保険者に 7 割給付開始
- 公民館共成地区館新築落成
- 北竜保育所（季節）開設
- 沼田開発公社設立
- 沼田魚菜卸売市場新築落成



昭和 52 年生まれ



北竜 3

平泉真美さん

新年あけましておめでとうございます。

この原稿を書いている部屋の外からは「最後のお願い」とマイクで訴えかける声が聞こえます。年が明けた頃には新しい政治という物が始まっていて、600 億とも言われる選挙税金が無駄になってないように祈っています。

私の祖父が端野町から移り住み、稲作と畑作を中心として、大切に耕作してきた農地を譲り受け、今年から三代目として農業経営を先生である父から托されました。

昨年の大雪、年末の非常に遅い初雪が根雪となり、突然の雷雨。今、地球の気象は異常に向かっています。こんな時こそ、技術と経験が豊かな北竜三地区の先輩方から学び、「食を支える」という仕事に誇りを持ち頑張りたいと思います。

実際に目に入れると痛いですが、可愛い我が子たちが常に笑顔でいられる様な新しい一年になる事を期待し、新年のご挨拶とさせていただきます。

昭和 52 年、沼田町では…

- 恵比島校を沼田小学校に統合（本年度で小学校の統合終わる）
- 沼田水泳プール完成（田島公園）
- 小矢部市から「夜高あんどん祭り」を導入、町民まつりに披露される
- 沼田町民会館完成（前年の老人福祉センターと合わせ、多目的利用の総合会館となる）

平成元年生まれ 舟橋良太さん・綾佳さんご夫妻（旭町西）

新年あけましておめでとうございます。

夫婦二人そろって巳年生まれの舟橋家です。

昨年は私たちにとって大きな 1 年でありました。一昨年に入籍をし、新婚生活を楽しみ、そして昨年 10 月には新たな命が誕生し、守るべきものが増えました。

今年は家族 3 人健康で過ごせたらと思います。また、笑顔の絶えない幸せな家庭を築いていけるよう、夫婦力を合わせていきたいとも思います。

皆様にとっても幸せな 1 年でありますように。



平成元年、日本では…

- 消費税スタート（当時税率 3%）

平成元年、沼田町では…

- 「スノーモービル全日本選手権シリーズ第 4 戦」五ヶ山牧場特設会場で開催
- 「東京沼田会」設立総会開催
- 「沼田小学校」開校 88 周年記念式典挙行



沼田町の巳年生まれ
合計 265 名

大正 6 年生まれ	9 名	昭和 40 年生まれ	35 名
昭和 4 年生まれ	36 名	昭和 52 年生まれ	30 名
昭和 16 年生まれ	47 名	平成 1 年生まれ	29 名
昭和 28 年生まれ	54 名	平成 13 年生まれ	25 名

まちのニュース

Numatatown News

まちのニュースは、沼田町公式ホームページからでもご覧になれます。Facebook ページもありますので、こちらもご利用下さい。



「更生と雇用」の実態を知る

青山学院大学の生徒が沼田町で懇談

11月9日（金）、青山学院大学法学部の藤川久昭教授とそのゼミ生7名が沼田町を訪れ、沼田町就業支援センターと就農支援実習農場の2施設を訪問。施設内見学や関係者との懇談を行いました。

藤川教授は労働法のゼミを青山学院大学で行っており、卒業論文のテーマに4つを設定。その一つに「更生と労働」というテーマがあり、今回、藤川教授が知人から沼田町の更生

保護施設を紹介され、実際に施設を視察し、実態を知るという目的から今回の町の訪問となりました。

藤川教授と学生は実習農場で施設に入っている子どもたちと懇談し、その後、支援センターで子どもたちの自立更正のための奉仕活動を行っている沼田明日萌の会と沼田すずらんの会の会長らと懇談。学生たちは「施設が出来るときは抵抗がなかったですか？」と質問し、すずらんの会の藤村富子会長は「最初は抵抗があったけど、施設が出来る前にすずらんの会を立ち上げ、自分がやるんだという責任感が湧き、抵抗感がなくなっていった」と、センター開所当時の心境を話していました。

懇談を終えて、青山学院大学4年生の本間早織さんは「すずらんの会の人たちからは子どもたちに対する愛情が伝わってきた」と感想を話していました。

視察を終えた藤川教授は「今回の縁を機に、青山学院の学生と沼田町とで交流や何らかの取り組みを行っていければ」と語っていました。



沼田の落語ファンを魅了！

第8回ほたる寄席「橘家富蔵独演会」

11月10日（土）、ほろしん温泉ほたる館で、この時期の恒例行事となっている「ほたる寄席『橘家富蔵独演会』」が開催され、沼田町の落語ファン約60名が館内クリスタルホールに集まりました。

高座に登場した橘家富蔵師匠は、軽快な口調で小話などを披露。観客の心をあつという間に掴み、演目「大安売」と「時そば」を披露。「時そば」では、まるでそばがあそこにある

かのような真打ならではのそばを食べる仕草をみせ、観客から大きな拍手と笑いを誘っていました。

また、今回の寄席でも昨年に続き旭笑亭幻太さんが登場し、得意ネタの「新聞記事」を披露。笑いの耐えない1時間30分となりました。



日頃の練習の成果見てください！

第35回沼田幼稚園発表会

11月11日（日）、町民会館において第35回目となる町立沼田幼稚園（田中敏夫園長）の発表会が行われ、多くの保護者で賑わいました。

園児の「お遊戯も劇も一生懸命練習しました。最後まで見てください」という元気な開会挨拶から発表会がスタート。その言葉通り、園児はステージ上で精一杯踊りや劇、歌を披露。会場に集まった家族も、園児の勇姿に終始顔が綻んでい

る様子でした。

挨拶の中で田中園長は「家に帰ったら、子どもたちが今日一番良かったところを具体的に話して褒めてあげてほしい」と話し、子どもたちの成長が実感できる一日となりました。

自分の手で子どもを守る！

一般町民普通救命講習会

11月15日（木）、深川地区消防組合沼田支署（長谷川忠義支署長）が町民団体から救命講習会を受講したいとの申出を受け、町民体育館の会議室において講習会を開催しました。

今回、講習会の申出をしたのは、小さな子どもを持つお母さんたちで作られている「ママ友」という団体。代表の中村真澄さんの子どもが過去に倒れてしまった時に「看護師として働いていたけど、動揺してとっさの時その経験が活かせなかった」との思いから、講習会の開催を思い立ち、沼田消防署に相談して開催に至りました。

今回は15名の方が参加し、消防職員の説明の後「溺れた時はどうやって対処すればいいの？」や「頭を打った時はどうすれば？」など、参加者は積極的に質問をし、AEDの使用方法や心配蘇生法の実践にも真剣な様子で取り組んでいました。



沼田小学校でおにぎり作りと餅つき

イベント炊飯事業

11月15日（木）、沼田小学校（藤森正男校長）で3～5年生の児童を対象としたイベント炊飯事業が、農協青年部と女性部の協力を得て実施されました。

農協青年部も米飯促進事業として、稻田勝人青年部長の「今の子どもたちは米食から離れてしまっていると聞く。ぜひ、子どもたちにお米を食べてもらいたい」との思いから、青年部13名、女性部6名が今回のイベント炊飯の協力に乗り出しました。

沼田町産の「ゆめぴりか」8kgともち米10kgが用意され、炊きたてのお米はそれぞれ自分で食べられる量のお米をラップに取り、思い思いの形でおにぎりを作成。炊き立てのもち米は臼に移され、勢いよく杵でつかれる度に児童は「よいしょー！」と元気な声を出し、餅つきを楽しみました。



優勝杯をめぐり激しい戦い

第28回沼田町長杯ゲートボール大会

11月16日（金）、町民会館で第28回目となる沼田町長杯ゲートボール大会が開催されました。

開会式で金平町長は「健康のためにも、このように運動するのはとても良いこと。仲間と楽しく過ごしていただきたい」と挨拶。大会を主管する沼田町ゲートボール協会の堀川融子会長から競技場の注意などが行われ、町長の始球式後に協議開始。参加者たちは真剣勝負で優勝杯を争っていました。



子どもも母もみんなが宝

地域子育て支援センターが子育て講演会

11月16日（金）、沼田町地域子育て支援センター（土肥芳子センター長）が子育て講演会を実施し、約40名の方が参加しました。同センターが講演会を開催するのは初めてのことです。

講師に（財）生涯学習開発財団認定コーチの石谷二美枝先生を招き、石谷先生の幼稚園教諭としての経験や、自身が主宰を務める「子育てコーチングcafe」での受講生とのやりとりなど、石谷先生は自身の様々な経験から話を展開。『なぜ』という質問からは『言い訳』などしか聞き出せないの、『どのようにして』という質問の仕方をするとい。そうすると『方法』や『解決策』を聞きだせるや『よく頑張ったね』よりも『頑張ってくれてママ嬉しかったよ』みたいに、自分の気持ちを交えた褒め方の方が子どもは喜ぶなど、子どもとの接し方のコツを具体的に話し、講演に集まった参加者は先生の話しに「なるほど」と頷きながら聞き入っていました。



みんなで精一杯頑張りました！

第 47 回共成保育園お遊戯会・卒園式



11月24日（土）、共成保育園（渡辺敏昭園長）において第47回目となるお遊戯会と卒園式が開催されました。

先に行われたお遊戯会では、園児が一丸となって「4匹のチャールストン」などのお遊戯や楽器の演奏、歌と劇を披露。集まった保護者を目の前にして、園児は今までの練習の成果を精一杯に発揮していました。

卒園式では、渡辺園長から園児一人一人に保育証書が手渡され、記念品なども贈られていました。渡辺園長は挨拶で「今年は10名の子どもたちを預かった。こうして無事47回目の卒園式を迎えられたことに対して感謝したい」とお礼を述べていました。

沼田農業のために

農業委員会が町へ建議書提出



11月27日（火）、町農業委員会（山岡禎弘会長）が「平成25年度沼田町農業振興に関する建議書」を町に提出しました。

「建議」とは、農業委員会に関する法律の規定により、農民・農業者の立場を代表する機関として、町などの行政機関に農業及び農業者に関する意見や要望を伝えることで、沼田町農業委員会から町に対して建議書が提出されたのは初めてのことです。

建議書は「後継者及び新規就農者対策について」など5項目で構成され、役場を訪れた5名の農業委員を代表し、山岡会長から金平町長に手渡されました。

笑って心も体も元気♪

介護予防事業「笑いヨガ教室」



11月29日（木）、町健康福祉総合センターふれあいにおいて、「笑いヨガ教室」が開催され、25名ほどの参加者が集まりました。

この教室は、町の介護予防事業の一環で行われ、講師として、札幌で活躍している、ラフターヨガインターナショナル公認笑いヨガティーチャーの植田美之氏を招きました。

「笑いヨガ」は、1995年にインドの内科医によって考案され、冗談やユーモア、コメディなどに頼らず体操として笑うもので、「笑いの体操」と「ヨガの呼吸法」を組み合わせることから「笑いヨガ」と名付けられました。現在では世界で、数万の笑いヨガクラブが存在しています。

植田先生は「笑うと免疫力が上がる！」など、笑うことで得られる効果について説明し、参加者たちと笑いヨガを実践。手拍子しながら笑ったり、体操しながら笑うなどし、最初は先生に言われた通りに笑っていた参加者たちも、次第に笑いが伝染していき、気が付けば自然と笑いが起こるようになっていきました。

元気いっぱい！みんなでお遊戯！

第 59 回沼田保育園お遊戯会

深々と雪が降り積もる 12 月 2 日（日）、沼田保育園（土肥芳子園長）で第 59 回目となるお遊戯会が開催されました。

冒頭の挨拶で土肥園長は「練習通りにはならないかもしれないけど、園児は元気に所狭しと動き回ってくれると思います」と話し、小野垣貴大育友会長は「今日のお遊戯会に向けて、子どもたちは一生懸命練習してきた。総練習を見たけど、子どもの成長が実感できた」と、それぞれ子どもたちへの期待を語っていました。

園児たちは園長や育友会長の言葉に応えるかのように、歌やお遊戯などを元気よく精一杯に披露。カメラ片手に会場に集まった保護者からは大きな拍手が上がっていました。



強さの秘訣は朝ごはん！

北海道日本ハムファイターズの管理栄養士が食育講演会

12 月 6 日（木）、町教育委員会が主催する食育講演会が行われました。

講師に日本ハム㈱中央研究所の柄澤紀管理栄養士を招き、昼に小中学生を対象に沼田中学校体育館で、夜は一般の方を対象にゆめっくるでそれぞれ講演が開催されました。

柄澤氏は 2007 年 1 月から北海道日本ハムファイターズの主に 2 軍にいる選手の栄養教育を担当。120 名ほどの小中学生を前に柄澤氏は、実際に選手が食べている朝食を写真で紹介しながら「ファイターズでは 3 食しっかり食べることが決まになっている」、「特に朝食を食べないと、元気が出ず、ケガや病気が多くなり、トレーニングしても筋肉がつかない」と、朝食を食べることの大切さを児童たちに語り掛けました。



本のおまつり

図書館フェスティバル 2012

今年で 7 回目となる図書館フェスティバル（主催実行委員会）が、12 月 9 日（日）ゆめっくるで開催されました。町民から寄せられた古本が多く集まった古本市では、気に入った本を選び満足気な表情を浮かべていました。

このイベントは、図書館ボランティアや中学生のボランティア有志などにより運営され、皆に愛されるイベントとなっています。

また、人形劇や大型絵本の読み聞かせ、ポスターコンクール等の表彰も行われ、会場は大いに盛り上がりしました。



思いやりの心を持って

人権擁護委員が啓発活動

12 月 9 日（日）、町生涯学習総合センターで開催された図書館フェスティバル 2012 の中で、人権擁護委員による紙芝居が行われ、約 40 名の子どもと保護者が鑑賞しました。

この紙芝居は、沼田町在住の人権擁護委員 3 名が近隣市町村の人権擁護委員の協力を得て実施されました。「白い魚とサメの子」というタイトルの紙芝居が披露され、「自分らしさ」や「思いやれる心」などを題材に構成された物語を、キャストやナレーターが優しく語り掛けるように物語を展開。子どもたちは紙芝居を食い入るように見つめ、物語からいじめのない思いやりの心を学んでいた様子でした。

その後、図書館フェスティバルに人権イメージキャラクターの「人 KEN あゆみちゃん」が登場。子どもたちは笑顔で人 KEN あゆみちゃんと戯れていました。





今年度もシーズン終了直前に開催！

沼田町明日萌の里・ほたるの里歩くスキーの集い実行委員会



来年3月23日（土）24日（日）に開催する「明日萌の里・ほたるの里歩くスキーの集い」（吉住淳男実行委員長）の第1回実行委員会が、12月12日（水）役場会議室で開催されました。歩くスキー愛好者には、シーズン終わりの集いとして親しまれ、全道から例年約300名以上が参加します。

会議では、開催概要を協議しすべて承認され、3月23日（土）は、会場のほろしん温泉ほたる館で前夜祭、翌日の3月24日（日）に3つのコースで集いを行うことを確認しました。

事務局の担当者は「この機会に歩くスキーの経験が無い方も気軽に問い合わせしてほしい。過去最高の参加者数を集めたいので皆様の参加をお願いします」と参加者増への意気込みを頭の中でPR戦略を考えながら語っていました。



来年も元気にいきいき！

平成24年度いきいき大学閉講式

高齢者の生きがいづくりに繋げようと、町教育委員会が毎年開講している「いきいき大学」（生沼篤司学長）の平成24年度閉講式が、12月14日（金）、ほろしん温泉ほたる館で開催され、68名の方が出席しました。

この日は閉講式の前段に「いきいき座談会」と名付けられた意見交換会を実施。丸テーブルに8名前後のいきいき大学生が座り、社会教育委員が座長を務めて「いま自分がしてみ

たいこと」と「お年寄りが地域でできること」の2つのテーマで座談会を進行。各テーブルも話しは盛り上がり「みんなでサークルなどの枠を超えてお喋りしたり体を動かしたりしたい」、「子どもはもちろん親も含めて寝が出来るようなおじいちゃんおばあちゃんになりたい」など、1時間程度の座談会でしたがたくさんの意見が出ていました。

その後の閉校式では、全7回に参加した13名の方に皆勤賞と記念品が贈呈され、7回中5回に参加した34名に修了証書が手渡され、「来年のいきいき大学までみんな元気にいよう」と誓い合い、今年度のいきいき大学を閉講していました。



慣れない杵に笑顔満開

みんなで「よいっしょ！」もちつき大会

12月15日（土）地域との交流を深め少年の社会成長を育むことを目的として、深川地区保護司会等が主催する、沼田町就業支援センターの少年による餅つき大会が沼田保育園で開催されました。

会場では、少年達が保護司会の皆さんの手ほどきを受けながら園児の「よいっしょ！よいっしょ！」のかけ声で勢いよく餅をつき、すずらん会のメンバーによりおいしく料理されたぞうにや黄な粉餅にしておいしくいただきました。

表彰

33年ぶりの発明考案表彰も！

沼田町商工優良従業員表彰式

11月17日(土)

沼田町商工優良従業員表彰式が観光情報プラザで開催され、永年勤続など延べ22名が表彰を受けました。

表彰式冒頭の挨拶で吉住淳男商工会長は「小さな事業所は、従業員がいなければやっていけない。荒波になればなるほどがんばってもらわなければならず、心より感謝したい」と地元企業の現状を話し、日頃がんばっている従業員等に感謝していました。



被表彰者名簿

5年以上

高岡 一男 (有北沼)
石川 祐一 (有北沼)
徳永 忠 (有北沼)

坂井 信和 (株インベント)

高橋 尚哉 (株丸ヨ 吉住商店)

佐々木 俊行 (株丸ヨ 吉住商店)

下保 賢司 (株丸ヨ 吉住商店)

本間 崇訓 (株沼田開発公社)

林 順一 (株沼田開発公社)

岩井 靖亨 (株沼田開発公社)

神田由美子 (株沼田開発公社)

斉藤 和久 (株沼田開発公社)

15年以上

高橋 俊光 (株沼田交通教育協会)

伊藤真樹子 (株沼田交通教育協会)

20年以上

川邊 峰男 (株沼田開発公社)

尾崎 主計 (株沼田開発公社)

25年以上

長田 忠義 (渡部建設株)

30年以上

石田 信義 (株丸ヨ 吉住商店)

平井 昌美 (株沼田開発公社)

斉藤 政広 (株沼田開発公社)

発明考案表彰

花本美由紀 (株インベント)

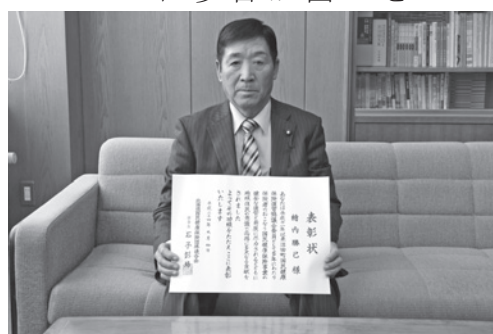
沼田町長表彰

長田 忠義 (渡部建設株)

絵内勝己氏

国保連合会から表彰

沼田町国民健康保険運営協議会の委員を平成11年7月1日から6期12年間勤めている絵内勝己氏が、9月4日(火)、北海道国民健康保険団体連合会の石子彭培理事長から、長年、国民健康保険事業の健全な運営と発展に尽力し、地域住民の意識高揚に多大な貢献をしたとして表彰され、11月21日(水)、役場を訪れ表彰の報告を行いました。



愛称は「こどもつくる」！

学童保育所の愛称考案者を表彰

12月に完成する沼田小学校に併設・移転することとなっている沼田町学童保育所。より学童保育所が親しみを持たれる施設になるうと、町教育委員会が9月中旬に愛称の募集を呼び掛けたところ、17点の作品が集まり、10月に行われた選考の結果、岩倉那月くん(8才)が考えた「こどもつくる」が最優秀作品として選ばれました。それを記念して、11月30日(金)に那月くんに対して表彰状と記念品が贈られました。

那月くんはお父さんと役場町長室に訪れ、少し緊張した面持ちで金平町長から賞状と記念品を受け取っていました。

金平町長に「良い名前を考えだね」と声を掛けられると、那月くんは「最優秀賞に選ばれたと聞いたとき、すごく嬉しかった」と感想を述べていました。



表彰

農天氣の会が女性・高齢者

チャレンジ活動表彰奨励賞を受賞

農業経営や地域振興への積極的な姿勢をたえる「女性・高齢者チャレンジ活動表彰」に、沼田町の農天氣の会（藤村富士子代表）が奨励賞を受賞し、12月13日（木）、町生涯学習総合センターゆめつくるで表彰式が行われました。

農天氣の会は、平成13年に町内の農家女性6人の勉強会として結

成。メロン栽培の体験学習を企画し、9年間、沼田小学校の毎年のカリキュラムとして取り組まれています。体験学習の内容も単なる収穫体験ではなく、事前学習から定植体験、生育見学や収穫、試食まで1年間を通して行う特長的な食育活動をし、農業への理解を広げていることが評価されました。

表彰式で金平町長は「小学校だけ、地域だけでは出来ない活動を9年間続けているのは大きな功績」と農天氣の会の活動を称えました。賞状を受けた藤村代表は「身に余る表彰。今後も未来の沼田のために少しでも貢献していきたい」と表彰の喜びを語りました。



認定

ぬまたエンジョイスportクラブに

応急手当協力事業所認定証を交付

12月6日（木）、深川地区消防組合沼田支署で「応急手当協力事業所認定交付式」が行われ、新たに認定を受けたぬまたエンジョイスportクラブ（池内孝司理事長）に認定証が交付されました。沼田町で交付を受けたのは、これで7団体目となります。

長谷川支署長から認定証を手渡された池内理事長は「これから微力ながら人命救助の手助けをしていきたい。今後も沼田消防にご指導いただければ」と話していました。



寄付

まちづくりに役立ててください

歌声サークルが町ふるさと基金へ寄付

沼田町の様々なイベントで活躍し、ボランティア活動等を行っている歌声サークル（市橋静代代表）が、先般行われた女性フェスタで行った、フリーマーケットの出店売り上げ20,140円を町ふるさと基金に寄付しました。これは、歌声サークルの会員が家庭などにあったものを持ち寄り行ったもので大盛況で終了したものです。

この日は、歌声サークルのメンバー3名が役場を訪れ金平町長に寄付金を手渡し、市橋代表が「わずかな金額ですがふるさと沼田に役立ててもらいたい。そして今後も微力ながら沼田町のためになることを行っていきたい」と謙虚に思いを語っていました。



役場の各課ご案内します！

こちら役場案内所！

もうそろそろで全課紹介達成する「役場の各課ご案内します！こちら役場案内所」。1月号では、建設課をご紹介します！

こんにちは！建設課です！

建設課の主な業務

建設課では、主に町道維持（町道新設含む）・河川管理・土木工事、建築工事（公共施設等）、競争入札による契約発注、町営バス運行、上下水道の運営を行っています。

町道・上下水道など町のインフラ整備をしており、町民のみなさんと接する機会の多い部署です。

何かありましたらお気軽にお問い合わせください。



■建設課スタッフ紹介■

職氏名	主な担当
建設課長 中野栄治	建設課全体総括 建築工事技術等全般 水道工事技術等全般
建設課主幹 村中博隆	土木・河川技術等全般 町道維持・町道新設 公園管理・河川管理
建設課主査 高橋直幸	管理全般 工事発注及び契約管理 町営バス運行管理
建設課主査 土井佑起	土木工事等技術全般 町道新設計画及び実施 融雪溝管理運営全般
建設課主査 竹田優子	上下水道事業運営管理全般 水道料金徴収及び管理
建設課技師 宮沢 勝	建築工事等技術全般 建築確認申請事務
事務員 伊藤由佳子	水道事業一般事務

役場から電話についてのお知らせ

役場からの電話でのご連絡で、みなさまの携帯電話に掛けた場合、役場の代表電話番号（35-2111）が表示され、どこの課から電話を掛けたか分からない場合があります。皆様には大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解くださいますようお願い致します。

また、下記に記載されています番号を使いますと、総務課を通さずに各課へ電話することが出来ます。合わせてお知らせ致しますのでご利用ください。

なお、午後11時から翌朝7時までは、役場職員不在となり、総務課長に電話が転送されます。電話が通じるまで時間が掛かりますので、ご了承ください。

各課電話番号一覧表

総 務 課	3 5 - 2 1 1 1	議会事務局	3 5 - 2 1 1 7
商工観光課	3 5 - 2 1 1 2	政策推進室	3 5 - 2 1 5 5
財 政 課	3 5 - 2 1 1 3	保健福祉課	3 5 - 2 1 2 0
農業振興課	3 5 - 2 1 1 4	教育委員会	3 5 - 2 1 3 2
住民生活課	3 5 - 2 1 1 5	図 書 館	3 5 - 3 5 1 5
建 設 課	3 5 - 2 1 1 6	沼 田 消 防	3 5 - 2 0 5 0

今年も沼田の長い冬がやってきました！

冬期は滑りやすい路面での**転倒**、雪かきによる**膝腰の痛み**、閉じこもりによる**運動不足**など身体の問題が多くなります。

日々の雪かきで膝腰を痛めないように気をつけましょう。

雪かき 10 か条

- ①準備運動を忘れずに（身体を温めてから）。
- ②防寒対策！（寒さを防ぎ、汗を吸収する身支度）
- ③外へ出る前にコップ1杯の水分補給を。
- ④軽い作業から行いましょう。
- ⑤呼吸は止めず、ゆっくり行いましょう（有酸素運動）。
- ⑥膝をしっかり曲げ、腰は捻らずに行いましょう！
- ⑦休みながら行いましょう。
- ⑧疲れたら無理せず止めましょう。
- ⑨終わった後は整理体操をしましょう。
- ⑩着替えと十分な休養を取りましょう。

雪かきの消費カロリー (30分)

男性 (65kg) → 約 200kcal
女性 (50kg) → 約 160kcal

※コンビニのおにぎりが1つ約 150kcal です。
※約 7000kcal 消費で体重1kg 分の運動になります。



雪かきはジョギングと同じ消費カロリー

今月は、**転倒予防**に効果的な

★バランス向上トレーニング★

を紹介します。

これから冬になりますが、雪道の歩きにくさから閉じこもりがちになっていませんか？雪道の歩行に自信のない方は、平衡感覚（バランス）が低下していることが考えられます。バランスが向上することによって、転倒予防に効果的です。10回を目安に、ぜひチャレンジしてみましょう！

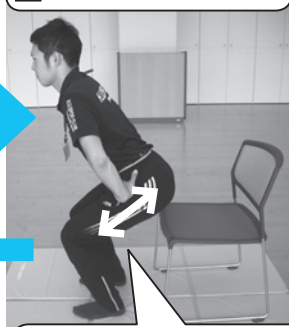
①

イスの前に立ちます。



イスとかかとを少し離します。

おしりでイスに**少し触れ**、また立ちます。



おしりからももの部分がつかいと効果的！

②

イスの後ろに立ち、片足で立ちます。



イスの背に軽くつかまります。

つま先立ち
は効果的！

そのまま膝を曲げ、腰を落とします。



しっかりと片足に体重を乗せます。

後期高齢者医療制度

1. 高額介護合算療養費
2. 医療費通知
3. 特別優待券

1 医療と介護の両方を利用している世帯には、負担軽減があります

医療と介護の両方を利用している世帯の自己負担を軽減するために高額介護合算療養費制度があります。

この制度は、同じ世帯の被保険者が、「病院にかかったとき」と「介護サービスを利用したとき」の1年分の自己負担額の合計が表の基準額（限度額）を超えた場合は、超えた額が支給されるものです。

なお、対象と考えられる世帯へは北海道後期高齢者医療広域連合から申請書が送付されますので、印鑑、通帳を持参し保健福祉課保険グループで申請をして下さい。

○後期高齢者医療制度または介護保険の自己負担額のいずれかが0円の場合は対象となりません。

○支給額が500円未満の場合は支給されません。

○例：夫が介護のみ妻が医療のみで算定基準を超えた場合も対象となります。

◆自己負担限度額表 【1年分の自己負担額の計算期間：8月1日～翌年7月31日】

負担割合	区 分		自己負担額の合計の基準額
3割	現役並み所得者		67万円
1割	一 般		56万円
	住民税非課税世帯	区分Ⅱ（※1）	31万円
		区分Ⅰ（※2）	19万円

※1 世帯全員が住民税非課税である方

※2 世帯全員が住民税非課税であり、世帯全員の所得が0円（公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下）、または老齢福祉年金を受給している方

●「現役並み所得者」の方は後期高齢者医療被保険者証に「3割」と記載されている方です。

○申請される方は、保健福祉課保険グループまでお申し出ください。

【申請に必要なもの】

①広域連合から送付される申請書、②印鑑（シャチハタ以外）、③通帳

2 『医療費通知』の送付を希望される方へ

北海道後期高齢者医療広域連合では、被保険者の皆様に健康や医療に対する理解を深めていただくために、皆様の医療費を半年ごとにまとめ、発行をご希望の方を対象に医療費通知を送付しています。

次回の発行は、平成25年3月（平成24年7～12月の医療費を対象）に行います。

◆新たに発行をご希望の方はご連絡ください！

新たに発行をご希望の方は、お手数ですが、北海道後期高齢者医療広域連合または沼田町役場保健福祉課保険グループへご連絡ください。（電話でのご連絡だけで手続きできます）。

○すでに「発行希望」のご連絡をいただいている方につきましては、継続して発行しますので、再度のご連絡は必要ありません。

○この通知は希望により送付するものですので、これにより何らかの申請等の手続きをしていたく様なことはありません。

※この通知を確定申告などの「医療費控除」の領収書の代わりとすることはできません。

3 『特別ご優待券』の有効期限が迫っています

平成24年6月末に後期高齢者医療保険の被保険者皆様へお配りした、特別ご優待〈入浴利用券〉と町営バス乗車券の**有効期限は平成25年1月31日まで**となっておりますので、お知らせいたします。

有効期限後は使用できませんので、お早めにご利用ください。

なお、今年4月末に配布された赤色の町民優待券とはご利用期間が異なるため、お間違えのないようご注意ください。

※今回有効期限切れとなる券は**黄色**の特別ご優待券と、**緑色**の町営バス乗車券です。

平成25年1月31日で利用期間が終わる券



「黄色の券」



「緑色の券」

お早めにご利用ください！

上記の券のように後期高齢者医療被保険者用と記載されている券が、平成25年1月31日までの有効期限となって

います。

後期高齢者医療制度に係る問い合わせ先 **保健福祉課保険グループ**
【電話0164-35-2120（担当：赤井・大原）】



まちの家計簿お知らせします！ 総額約 61 億 9,572 万円

歳出 45 億 7,730 万円
町民一人あたり 129 万 4,485 円

総務費 4 億 434 万円 (8.8%)

町の内部管理、税務、戸籍、選挙、統計などに要する経費

民生費 5 億 512 万円 (11.1%)

福祉事業、保育園運営費などに要する経費

衛生費 3 億 6,740 万円 (8.0%)

健康づくり、ごみ、し尿などに要する経費

農林水産業費

4 億 170 万円 (8.8%)

農林業の振興などに要する経費

商工費 7,017 万円 (1.5%)

商工業・観光の振興などに要する経費

土木費 3 億 9,791 万円 (8.7%)

道路整備・維持、町営住宅管理などに要する経費

教育費 4 億 1,767 万円 (9.1%)

小中学校、幼稚園、社会教育、社会体育などに要する経費

公債費 5 億 5,253 万円 (18.6%)

町の借入金の返済に要する経費

諸支出金 3 億 4,591 万円 (7.6%)

基金の積立金などに要する経費

職員費 6 億 925 万円 (13.3%)

職員に対して支給される給料と各種手当などに要する経費

その他 2 億 530 万円 (4.5%)

議会費・消防費など

まちの家計簿といえる平成 23 年度決算を公表し、町民みなさんから納めていただいた税金や国、道からの補助金等がどのように使われているかをお知らせします。

年々、厳しくなる財政状況の中、節減に努め効率的な財政運営を行ない財源確保に最大の努力を図っていきたく思いますので、町の行政について、皆さんの一層のご理解とご協力をお願い致します。

借入金の状況 (一般会計分)

区 分	平成 23 年度末現在高
農 林 水 産	1 億 1,189 万円
土 木	9,515 万円
公 営 住 宅	7 億 7,281 万円
公 共 事 業 等	1 億 1,106 万円
過 疎 対 策 事 業	17 億 4,883 万円
一 般 会 計 出 資 債	4,931 万円
臨 時 財 政 対 策 債	6 億 6,207 万円
そ の 他	8,645 万円
合 計	36 億 3,757 万円

町有財産の状況 (平成 23 年度決算現在高)

土地	5,425,931 m ²	車輛	82 台
建物	108,567 m ²	有価証券	508 万円
山林	3,554,824 m ²	出資金等	3,664 万円
基金 (一般会計分)		28 億 2,796 万円	
・ 財政調整基金		3 億 3,478 万円	
・ 減債基金		6 億 6,898 万円	
・ 特定目的基金		18 億 1,822 万円	
・ 定額運用基金		598 万円	
備荒資金組合納付金		5 億 125 万円	

◇備荒資金組合納付金とは…

災害による減収補てん・災害応急復旧事業費やその他災害に伴う費用にあてるために、道内の市町村が一部事務組合を設立し積立を行っているもので、使い道が災害関連等に限定される普通納付金と、使い道に制約の無い超過納付金に分けられています。

町税：町民一人あたり 8 万 5,140 円の負担

町税の負担状況 人口 3,536 人(平成 24 年 3 月末)

税区分	決算額	構成比	町民一人あたり
町民税	1 億 2,303 万円	40.9%	34,793 円
固定資産税	1 億 3,678 万円	45.4%	38,683 円
軽自動車税	763 万円	2.5%	2,158 円
たばこ税	2,185 万円	7.3%	6,179 円
入湯税	1,176 万円	3.9%	3,327 円
合 計	3 億 105 万円	100%	85,140 円

町民の皆さんが町のために納められた税金です。



一般会計の決算額は歳入が 46 億 3,619 万円、歳出 45 億 7,730 万円で差し引き 5,889 万円の黒字決算となりました。

町民の皆さんが納めた町税は 3 億 105 万円で 1 人当り 8 万 5,140 円負担したことになります。

これに対し、1 人当りに使われた費用は 129 万 4,485 円で黒字決算とはいえ依然、自主財源に乏しくその大半を地方交付税や町債（町の借金）に頼る財源内容となっています。

特 別 会 計

特定の事業に使われる経費を一般の歳入歳出と区分して経理する会計です。

会 計 別	歳 入	歳 出
養護老人ホーム	2 億 6,009 万円	2 億 3,305 万円
特別養護老人ホーム	3 億 5,198 万円	3 億 3,426 万円
国民健康保険	5 億 1,789 万円	5 億 1,087 万円
介護保険	3 億 672 万円	3 億 342 万円
後期高齢者医療	4,756 万円	4,751 万円
公共下水道	1 億 9,032 万円	1 億 8,931 万円
合 計	16 億 7,456 万円	16 億 1,842 万円

一般会計と公営企業会計は、税・使用料・負担金・国庫支出金のほか、特別会計からの繰入金等で運営がなされ、効率的運用に努めています。

公営企業会計

地方公営企業とは、地方公共団体が地域住民の福祉増進を目的として経営する企業です。

会 計 名	区 分	決 算 額
水道事業会計	収益的	収入 1 億 6,089 万円
		支出 1 億 6,282 万円
	資本的	収入 324 万円
		支出 3,674 万円

歳入 46 億 3,619 万円
町民一人あたり 131 万 1,140 円

町 税
3 億 105 万円 (6.5%)

住民税・固定資産税など

使用料及び手数料
9,210 万円 (2.0%)

公営住宅使用料・ごみ処理手数料など

財産収入
1 億 3,762 万円 (3.0%)

農産加工品売払代金など

繰入金
1 億 4,259 万円 (3.1%)

特定の事業に充てるために基金から繰り入れたお金

諸収入
1 億 6,995 万円 (3.7%)

預金利子や雑入など

地方交付税
25 億 4,169 万円 (54.8%)

町の財政力に応じて国から交付されるもの

国庫支出金
3 億 1,264 万円 (6.7%)

各種事業に伴う国の補助金

道支出金
2 億 4,396 万円 (5.3%)

各種事業に伴う道の補助金

町 債
3 億 3,570 万円 (7.2%)

建設工事など大きな事業の実施に伴う借入金

その他
3 億 5,889 万円 (7.7%)

地方譲与税、寄付金など



平成24年度 上半期

支

収

状

況

平成24年度の上半期（4月～9月）の収支状況をお知らせいたします。

限られた財源の中で健全財政を堅持しつつ町民生活の向上を重点に、行財政の効率的な運営に努めています。この公表を通じ、町の財産がどのような状況にあるかをご覧ください、住みよいまちづくりにこれからも一層のご理解とご協力をお願いします。

一般会計

歳入

予算額 50億 5,090 万円
収入済額 24億 623 万円
執行率 47.6%

町税

3億 1,747 万円
1億 5,090 万円（47.5%）

地方交付税

22億 799 万円
16億 7,822 万円（76.0%）

使用料及び 手数料

8,800 万円
4,017 万円（45.6%）

国庫支出金

5億 283 万円
4,876 万円（9.7%）

道支出金

2億 5,782 万円
2,281 万円（8.8%）

財産収入

1億 5,656 万円
4,632 万円（29.6%）

繰入金

6億 4,143 万円
2億 5,000 万円（8.7%）

諸収入

1億 4,581 万円
1,274 万円（10.6%）

町債

4億 3,900 万円
0 円（0.0%）

その他

2億 9,399 万円
1億 5,631 万円（53.2%）

歳出

予算額 50億 5,090 万円
支出済額 16億 9,010 万円
執行率 33.5%

総務費

3億 4,433 万円
1億 7,304 万円（50.3%）

民生費

5億 5,232 万円
1億 7,250 万円（31.2%）

衛生費

3億 8,020 万円
6,206 万円（16.3%）

農林水産業費

4億 6,721 万円
1億 3,122 万円（28.1%）

商工費

6,528 万円
5,299 万円（81.2%）

土木費

5億 1,847 万円
1億 6,719 万円（32.2%）

教育費

12億 5,364 万円
2億 9,632 万円（23.6%）

公債費

5億 4,436 万円
2億 2,817 万円（41.9%）

諸支出金

8,052 万円
156 万円（1.9%）

職員費

6億 610 万円
2億 9,550 万円（48.8%）

その他

2億 3,847 万円
1億 955 万円（45.9%）

予算額

収入・支出済額（）は執行率

町債の借入予定

事業名	借入予定額
過疎対策事業債	2億 6,800 万円
東予中央線凍雪害防止事業	1,710 万円
北通線交通安全事業	1,160 万円
除雪トラック購入事業	1,340 万円
沼田小学校改築事業	1億 4,250 万円
沼田小学校情報通信機器整備事業	1,900 万円
圧雪車購入事業	2,590 万円
学童保育所整備事業	3,850 万円
臨時財政対策費	1億 4,100 万円
公共事業等債	2,550 万円
消防債	450 万円
合計	4億 3,900 万円

町税の収入状況

税区分	予算額	調定額	収入済額	収入歩合
町民税	1億 3,610 万円	1億 5,370 万円	5,166 万円	33.6%
固定資産税	1億 4,240 万円	1億 4,009 万円	7,059 万円	55.0%
軽自動車税	768 万円	790 万円	779 万円	98.6%
たばこ税	1,837 万円	870 万円	870 万円	100.0%
入湯税	1,292 万円	569 万円	569 万円	100.0%
合計	3億 1,747 万円	3億 1,608 万円	1億 5,090 万円	47.7%

※町税は一般会計に占める割合が大きい自主財源の一つです。
日頃から納期内納付にご協力ください。

特別会計

会 計 別	予 算 額	収 入 済 額	支 出 済 額
養護老人ホーム	2 億 5,851 万円	1 億 3,641 万円	9,424 万円
特別養護老人ホーム	3 億 9,462 万円	1 億 2,641 万円	1 億 6,612 万円
国民健康保険	5 億 6,172 万円	1 億 8,263 万円	2 億 1,169 万円
高齢者グループホーム	3,848 万円	1,431 万円	1,376 万円
介護保険	3 億 3,718 万円	1 億 2,703 万円	1 億 2,711 万円
後期高齢者医療	5,749 万円	1,263 万円	1,352 万円
公共下水道	2 億 1,162 万円	1 億 64 万円	9,079 万円
合 計	18 億 5,962 万円	7 億 6 万円	7 億 1,723 万円

特別会計と公営企業会計は、税・使用料・負担金・国道支出金のほか一般会計からの繰入金等で運営がなされ、効率的運用に努めています。

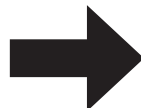
公営企業会計

会 計 名	区 分	予 算 額	執 行 額
水道事業会計	収 益 的	収 入	1 億 4,819 万円
		支 出	3,903 万円
	資 本 的	収 入	1 億 4,819 万円
		支 出	4,824 万円
		収 入	340 万円
		支 出	－万円
		3,812 万円	1,110 万円



わが町の財政を家計にたとえたら…

○税収 + 税外収入	24 億 391 万円
○地方交付税	22 億 799 万円
○公債費 (A)	5 億 4,436 万円
○税収等 + 地方交付税 - (A)	40 億 6,754 万円
○一般歳出	45 億 654 万円
町債収入	4 億 3,900 万円
例：沼田小学校改築事業	
※毎年必要なお金ではなく、臨時的に必要な多額の事業費の財源とするのが町債である。	
○町債残高予定 (H24 年度末)	35 億 9,103 万円
○基金残高予定 (H24 年度末)	22 億 6,460 万円



○1世帯年収	240 万 3,910 円
○親からの仕送り	220 万 7,990 円
○ローン元利払 (B)	54 万 4,360 円
○可処分所得【年収 + 仕送り - (B)】	406 万 7,540 円
○家計費	450 万 6,540 円
不足分 = 借金	43 万 9,000 円
例：住宅リフォーム	
※住宅のリフォーム等の必要な経費の不足分(可処分所得の不足分)を補うのが借金である。	
○ローン残高予定	359 万 1,030 円
○貯金残高予定	226 万 8,460 円

わが町財政を家計にたとえた場合、年収約 240 万円（税収・税外収入）と親からの仕送り約 220 万円（地方交付税）を合算した約 460 万円が年額収入となり、このうち約 54 万円は借金の返済（公債費）に充てなければならず、実際に可処分所得として使えるのは約 406 万円となります。一方、この家計は、家計費（一般歳出）として年間約 450 万円を必要としており、収入でまかないきれない約 44 万円は、借金（公債金収入）として調達しなければなりません。その結果平成 24 年度末には、ローン残高（公債残高）は約 359 万円、貯金残高（基金残高）は約 226 万円となっています。



グラフで見る！

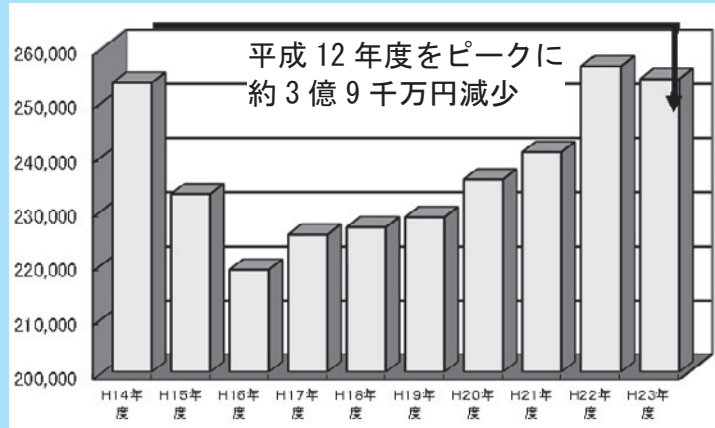
沼田町の財政推移

地方交付税の推移

沼田町の収入の半分以上を占める貴重な財源であり、財政の中で大きな位置を占めている、いわば命綱ともなっているのが「地方交付税」です。

地方交付税は、住民がどの町にいても、一定の行政サービスを提供できるよう、国税5税（所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税）の一定割合の額を、国が地方交付団体に対して交付するもので、普通交付税と特別交付税があります。

地方交付税の用途は、税収と同様、それぞれの地方公共団体が自由に決定することが出来ます。

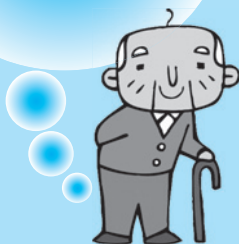


平成23年度の地方交付税額（普通交付税、特別交付税）は、25億4,169万円で昨年（25億6,506万円）より2,337万円減少しました。

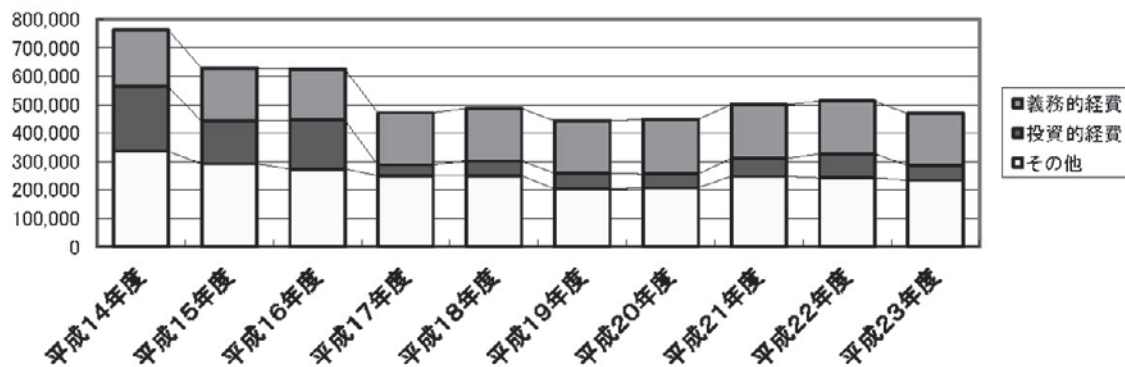
また、平成12年度が地方交付税額のピークの年（29億3,441万円）であり、比較すると約86.6%の水準となっております。

性質別経費（歳出）の推移

地方交付税の減少により、歳出の節減に努力しております。



義務的経費	法律で支払が義務付けられているもの、収入が減っても簡単に減らせないもの
	人件費：職員給与や議員、委員の報酬など
	扶助費：生活困窮者、児童、老人、障がい者等支援の経費
投資的経費	公債費：借入金の返済に要する経費
	道路の基盤整備、公共施設の建設、災害復旧費に当てられるもの
	公共施設の新増設等の建設や用地取得などの資産形成に資する事業に要する経費
その他	災害の復旧に要した経費
	公共物の維持や補修などのその他経費



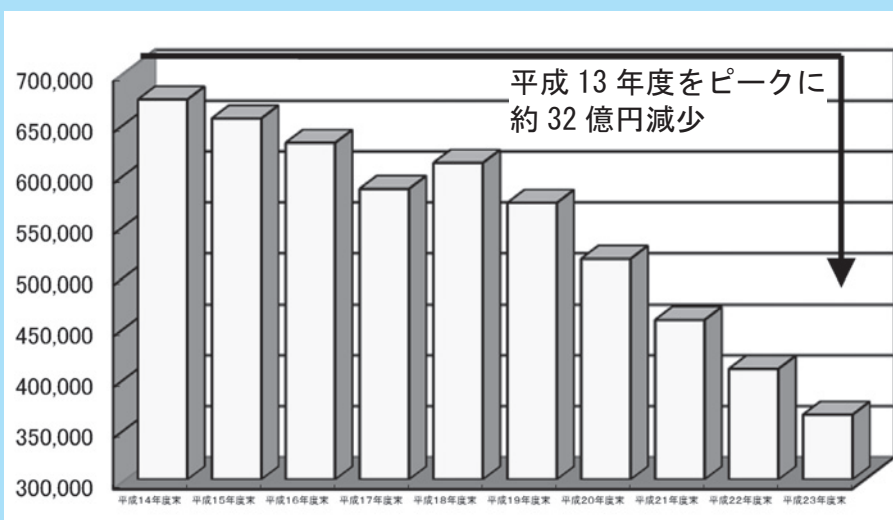
※この表の性質別分類は、決算統計の分類に基づいたものです。

町債（まちの借金）の推移

平成 23 年度末の町債（借金）残高は、36 億 3,757 万円で昨年（40 億 8,893 万円）より 4 億 5,136 万円減少しました。

ピーク時だった平成 13 年（68 億 7,133 万円）と比較すると約 32 億円減少しています。

なお、平成 18 年度は、国営土地改良事業（沼田ダム）における公共負担分を償還するための財源として、6 億 230 万円を借り入れたため急増しました。



財政調整基金とは？

災害復旧、その他緊急を要し、又は必要やむを得ない財政需要に応ずる財源を積立てるための基金です。

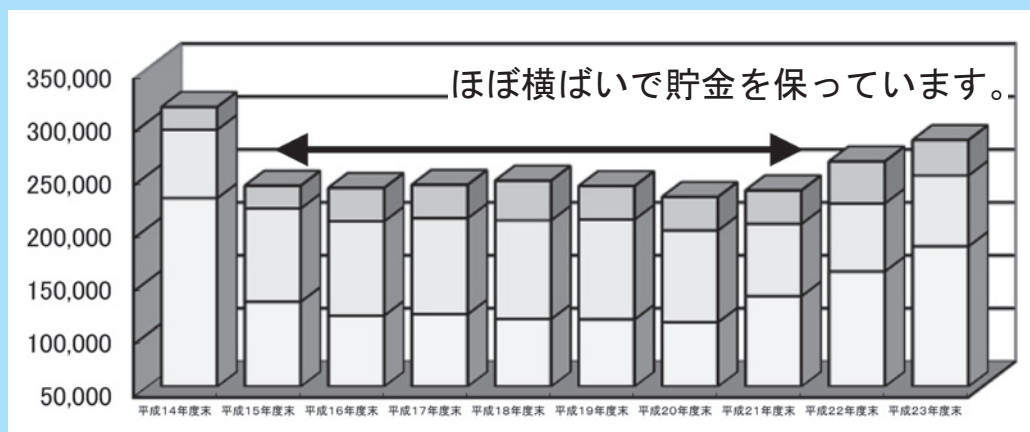
減債基金とは？

町債の償還に必要な財源を確保し、もって将来にわたる町財政の運営に資するための基金です。



基金（まちの貯金）の推移

	財政調整基金	減債基金	その他特定目的基金	年度末基金現在高
平成 14 年度末	2 億 1,452 万円	6 億 4,684 万円	22 億 7,986 万円	31 億 4,122 万円
平成 15 年度末	2 億 1,466 万円	8 億 8,115 万円	13 億 95 万円	23 億 9,676 万円
平成 16 年度末	3 億 1,473 万円	8 億 9,061 万円	11 億 7,034 万円	23 億 7,568 万円
平成 17 年度末	3 億 1,507 万円	9 億 694 万円	11 億 8,273 万円	24 億 474 万円
平成 18 年度末	3 億 7,515 万円	9 億 3,174 万円	11 億 3,737 万円	24 億 4,426 万円
平成 19 年度末	3 億 1,559 万円	9 億 4,385 万円	11 億 3,408 万円	23 億 9,352 万円
平成 20 年度末	3 億 1,598 万円	8 億 6,746 万円	11 億 723 万円	22 億 9,067 万円
平成 21 年度末	3 億 1,632 万円	6 億 8,219 万円	13 億 5,413 万円	23 億 5,264 万円
平成 22 年度末	3 億 9,642 万円	6 億 4,196 万円	15 億 8,794 万円	26 億 2,632 万円
平成 23 年度末	3 億 3,478 万円	6 億 6,898 万円	18 億 2,420 万円	28 億 2,796 万円



※平成 15 年度に、基金が大きく減っているのは、和風園の建設に伴い基金を取り崩したものです。また、平成 23 年度は、振興基金や地域医療確保安定化基金を増額しています。

今後も新たな借入を抑制し健全な財政運営に努めます。

【町の財政に関するお問い合わせ】役場財政課（電話 35-2113 まで）

平成 24 年度 沼田町の職員給与・職員数 公表！



職員の給与や定員を含めた人事行政運営等の状況を沼田町条例により公表致します。

一. 総括

(1) 人件費の状況 (平成 23 年度 普通会計決算)

住民基本台帳人口 (平成 23 年度末)	歳出額	実質収支	人件費	人件費率	22 年度の 人件費率
3,563 人	4,690,613 千円	83,804 千円	655,081 千円	14.0%	12.8%

※普通会計… (公共下水道・水道事業・国保・特別養護老人ホーム・介護保険事業を除く)

(2) 職員給与費の状況 (平成 23 年度 普通会計決算)

職 員 数	給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計	1人あたりの 給与費
81 人	251,065 千円	49,688 千円	96,979 千円	397,732 千円	4,910 千円

(3) 平成 23 年度 ラスパイレス指数 (一般行政職)

97.4%

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を 100 とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。

二. 職員の平均給与月額、初任給などの状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

①一般行政職

平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
41.8 歳	319,400 円	370,300 円

(2) 職員の初任給の状況 (平成 24 年 4 月 1 日現在)

区 分	初任給	10 年後の給料
一般行政職	大 学 卒 172,200 円	272,400 円
	高 校 卒 140,100 円	223,780 円

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況 (平成 24 年 4 月 1 日現在)

区 分	経験年数 10 年	経験年数 15 年	経験年数 20 年
一般行政職	大 学 卒 260,950 円	299,100 円	342,366 円
	高 校 卒 207,800 円	— 円	291,766 円

三. 職員手当の状況



(1) 期末手当・勤勉手当

沼田町			国		
平成23年度の1人あたり平均支給額			1,157千円		
23年度支給割合	期末手当 2.6月	勤勉手当 1.35月	23年度支給割合	期末手当 2.6月	勤勉手当 1.35月
(加算措置の状況)	職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%~15%		(加算措置の状況)	職務の級等による加算措置 ・役職・管理職加算 5%~15%	

(2) 退職手当 (平成24年4月1日現在)

沼田町			国		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.50月分	30.55月分	勤続20年	23.50月分	30.55月分
勤続25年	33.50月分	41.34月分	勤続25年	33.50月分	41.34月分
勤続35年	47.50月分	59.28月分	勤続35年	47.50月分	59.28月分
最高限度額	59.28月分	59.28月分	最高限度額	59.28月分	59.28月分
その他加算措置	定年前早期退職特例措置 (2%~20%加算)		その他加算措置	定年前早期退職特例措置 (2%~20%加算)	
1人あたり平均支給額	5,992千円				

(注) 退職手当の1人あたり平均支給額は、平成23年度に退職した職員に支給された平均額

(3) 特殊勤務手当 (平成24年4月1日現在)

支給実績 (平成23年度決算)	1,247千円
支給職員1人あたり平均支給年額 (平成23年度決算)	35,614円
職員全体に占める手当支給職員の割合 (平成23年度)	28.0%
手当の種類 (手当数)	1
手当の名称	主な支給対象職員
老人ホーム等業務手当	養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、グループホームの介護職員、看護師

(4) 時間外勤務手当

	平成23年度決算	平成22年度決算
支給実績	19,818千円	15,120千円
支給職員1人あたり平均支給年額	198千円	156千円

(5) その他の手当 (平成24年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価 (月額)	国の制度との異同	支給実績 (23年度決算)	支給職員1人あたり平均支給年額 (23年度決算)
扶養手当	配偶者 13,000 円 1人 (配偶者扶養) 6,500 円 ・ 1人 (配偶者なし) 11,000 円 特定加算 (16歳～22歳) 5,000 円	同	15,189 千円	241,087 円
住居手当	[借家] 家賃 23,000 円以下 家賃額 - 12,000 円 家賃 23,000 円を超え 55,000 円未満 (家賃額 - 23,000 円) × 1/2 + 11,000 円 家賃 55,000 円以上 27,000 円	同	15,708 千円	176,495 円
	[自宅] 11,000 円	異		
通勤手当	片道 2km 以上 5km 未満 2,000 円 5km 以上 10km 未満 4,100 円 10km 以上 15km 未満 6,500 円	同	220 千円	36,600 円
管理職手当	課長 40,000 円 課長補佐 30,000 ～ 37,000 円	異	8,292 千円	331,680 円
寒冷地手当	親族扶養のある職員 26,380 円 その他の世帯主である職員 14,580 円 その他の職員 10,340 円	同	11,887 千円	99,059 円

四. 特別職の報酬の状況 (平成24年5月1日現在)

区 分		給料月額等	期末手当	退職手当
給 料	町 長	678,000 円 (830,000 円)	(23年度支給割合) 3.95 月分	(算定方式) 町長) 給料月額 × 512.6/100 × 在職年数
	副町長	604,000 円 (669,000 円)		(算定方式) 副町長) 給料月額 × 323.4/100 × 在職年数
報 酬	議 長	261,000 円	(23年度支給割合) 3.95 月分	
	副議長	206,000 円		
	議 員	172,000 円		

(注) 給料の () 内は、減額措置を行う前の金額です。



五. 職員数の状況

沼田町役場の職員数

125人

(平成24年4月1日現在)



(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由 (平成24年4月1日現在)

	職 員 数		対前年増減数	主な増減理由
	平成24年度	平成23年度		
一般行政部門	66	63	+3	
福祉部門を除く一般行政職	45	42	+3	
福祉関係	21	21	0	
特別行政部門	15	15	0	
教育	15	15	0	
公営企業等会計部門	44	44	0	
水道	1	1	0	
下水道	1	1	0	
その他	42	42	0	
合 計	125	122	+3	
	[158]	[158]		

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数です。

2 [] 内は、条例定数の合計です。

3 その他は特別養護老人ホーム、介護保険事業、国保関係

(2) 年齢別職員数の状況 (平成24年4月1日)

区 分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳
職員数	1人	14人	15人	15人	14人	17人

区 分	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	合計
職員数	13人	11人	5人	10人	10人	0人	125人

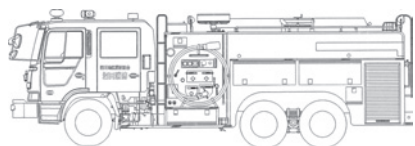
(3) 職員数の推移

(単位：人・%)

	19年	20年	21年	22年	23年	24年	過去5年間の増減数(率)	
一般行政	67	64	63	64	63	66	△1	(△ 1.49%)
教育	17	17	16	15	15	15	△2	(△ 11.76%)
普通会計計	84	81	79	79	78	81	△3	(△ 3.57%)
公営企業等会計計	45	46	45	44	44	44	△1	(△ 2.22%)
総合計	129	127	124	123	122	125	△4	(△ 3.10%)

(注) 各年4月1日現在

【職員の給与に関するお問い合わせ】 役場総務課 (電話 35-2111 まで)



消 報

深川地区消防組合
深川消防署
沼田支署予防担当
TEL 35-2050

消火器の不正取引にご注意を！

消火器の不適切な点検・訪問販売が、北海道内各地で多発しています。事業所において、契約業者を装い、消火器の点検を行ない、高額な点検料を請求するという手口が報告されています。また、一般家庭においても消火器の不適切な訪問販売も報告されており、消火器を高額で販売するなど、様々な手口が報告されています。

消火器の不正取引を防ぐポイント

- ①一般家庭において消火器の設置義務はありません。
- ②消防署（消防職員）では消火器の訪問販売は一切行っておりません。
- ③身分証明書等の提示を求める。
- ④はっきりと購入・点検を拒否する。
- ⑤不審な人物が訪れた場合は、消防署又は警察署へ問い合わせる。



平成25年 沼田消防出初式の挙行について

平成25年1月8日（火）の13時30分から、役場庁舎前において消防職団員約100名が集まり開催されます。号令によって職団員がきびきびと動く様子や、沼田消防団ラッパ隊の吹奏が見所です。街の中心部を職団員や、消防車両が町内を行進する“分列行進”（14時頃）もぜひご覧下さい。



※この写真は、
昨年の出初式
の様子です。



『警報器 あなたの危険 知らせます』

大切な家族や財産を守るため、**住宅用火災警報器**を設置しましょう。



沼田警察署あんぜん広場 NumataPolice

TEL 35-3110



年末における犯罪及び事故の防止

年末は、空き巣や車上ねらいなど、道民が身近に不安を感じる犯罪や金融機関、コンビニエンスストアを狙った強盗事件の発生が予想されることから、次のことに気を付けて安全で安心な年末を送りましょう。

○住宅を狙った侵入窃盗に注意をしましょう。

- ・短時間の外出でも、必ずドアや窓などに鍵を掛けましょう。
- ・長期間留守にするときは、新聞や郵便の配達を止めるなど、留守を悟られないようにしましょう。

○車上ねらいに注意しましょう。

- ・自動車から離れるときは、車内に物を置かないようにしましょう。
- ・短時間でも必ずエンジンキーを抜いてドアロックをしましょう。
- ・車は、明るく人目に付く場所に駐車しましょう。

○タイヤ盗難に注意をしましょう。

- ・車庫や物置にタイヤを保管するときは、必ず鍵を掛けましょう。
- ・屋内に保管できない場合は、チェーンなどでタイヤを固定しましょう。

飲酒運転は絶対やめましょう！

年末は、忘年会など飲酒する機会が増えますが、飲酒をすると注意意識が低下するため信号や歩行者を見落としやすくなり、重大事故を引き起こす危険性が高まります。

また、二日酔いも「飲酒運転」となりますので、翌日に車の運転をする場合は、「前夜、深酒をしない」、「朝起きて、お酒が残っていると感じたならハンドルを握らない」ようにしましょう。



沼田町の事件・事故の発生状況

犯罪の発生状況

(11月末現在)

		侵入窃盗	自動車盗	自転車盗	車上・部品狙い	器物損壊	その他盗	合 計
沼 田 町	平成 24 年	2	0	1	0	0	① 1 1	1 4
	平成 23 年	2	0	3	0	1	0	6

※「その他」①の被害品は、オートバイ盗難が 1 件、タイヤ盗難が 6 件、敷鉄板盗難が 2 件、軽油盗難が 2 件です。

交通事故の発生状況

町内における交通事故件数

人身事故		物損事故	
平成 24 年	6	平成 24 年	9 7
平成 23 年	1	平成 23 年	8 8

(11月末現在)

町民が町外で第 1 当事者となつた人身事故件数

平成 24 年	6
平成 23 年	5

(11月末現在)

今年の人身事故の内訳

軽傷事故 5 件 重傷事故 0 件 死亡事故 1 件

物損事故の主な原因のワースト 3 は、後方不確認のバック事故、前方不注視、ハンドル操作の不適です。

高齢者（65 歳以上）の物損事故の発生率は 22.7% と高くなっています。

生涯 学習

ゆめ つくる



女性の祭典！「女性フェスタ 2012」が11月18日（日）に生涯学習総合センターゆめつくるにて開催されました。

今年は、癒しとビューティーをテーマに女性が心も身体も楽しめるように、内容を大幅に変更しました。メイクアップ教室やアロマハンドマッサージ、フラダンス教室など様々な教室が全部で8つ企画・実施され、世代を超えた女性達が笑顔で交流していました。女性限定の講座以外にも、来場者へは無料で沼田産の小豆とかぼちゃを使ったかぼちゃぜんざいの無料配布があったり、他にも谷本光氏のミニライブ、女性団体によるフリーマーケットなどで会場は大盛況でした。参加者は「昨年までは運営のお手伝いが忙しく楽しめていなかったが、今年は自分自らが楽しむ事ができたし、たくさんの他団体と交流ができてとてもよかった」と話してくれました。

豆とかぼちゃを使ったかぼちゃぜんざいの無料配布があったり、他にも谷本光氏のミニライブ、女性団体によるフリーマーケットなどで会場は大盛況でした。参加者は「昨年までは運営のお手伝いが忙しく楽しめていなかったが、今年は自分自らが楽しむ事ができたし、たくさんの他団体と交流ができてとてもよかった」と話してくれました。



本物の芸術文化に触れる！



12月4日開催
「芸術文化鑑賞事業 林家たい平独演会」

「笑顔が見たくて、この仕事」 林家 たい平

教育委員会では、優れた（本物の）芸術文化に触れ、豊かな情操を育むことを目的に「芸術文化鑑賞事業」を毎年実施しております。昨年は、戦場カメラマンの渡部陽一氏をお迎えしましたが、今年は、笑点でおなじみの「林家たい平」さんによる独演会を行い、林家たい平師匠を觀ようと、町内外から約270名の方が会場にかけ付けました。

出囃子が鳴り、高座にたい平師匠が姿を現すと、会場からは割れんばかりの拍手。笑点での裏話や、初代林家

三平師匠など林家一門の話など、軽快なテンポで小話を披露し、会場を爆笑の渦に巻き込むと、扇子と手拭を使った落語ならではの名人芸の披露では、会場から大きな拍手が沸き起こっていました。

会場をたい平師匠の空気一色に変えてから、演目「転失気（てんしき）」と「禁酒番屋」を披露。

老若男女問わない観客たちは、終始笑っぱなしの1時間30分となりました。



優れた芸術文化に触れて、豊かな情操を育む「芸術文化鑑賞事業」

司書のイチバン! 『漬けものの本』



少し前までは、冬になると漬けものを漬ける家庭が多かったですが、最近では漬けものは家庭で漬けず、お店で購入するという家庭が多いと思います。

漬けものは漬け方などが少し難しく感じますが、簡単に作ることができるのをご存知でしょうか。

図書館には“漬けもの200”や“基本の漬けもの”など漬けものの作り方が載った本があります。

どの本も、カラーで漬けものの作り方が載っています。梅干しの作り方やたくあん、白菜漬けなどなどたくさんの漬けものの作り方が紹介されています。

また、即席で作ることができる浅漬けや中華風漬けものの紹介、漬けものを漬ける時のコツなどが載っているので、本を見て作っていくと、漬けものの作りの名人になれそうです。

漬けものが苦手な方も食べることができるようなものも紹介されていますので、漬けものが好きな方もそうでない方もぜひ読んでほしい本です。

図書館には、今回紹介した2冊のほかにも梅干しの作り方だけが書かれた本や、その土地ならではの漬けものが載った本など様々な漬けものの本が揃っています。

図書館に来館された際は、ぜひ手に取ってみてください。

新刊図書

《一般書》

- 「わたしは99歳のアーティスト」 作者：三星 静子
 「やさしい和の布こもの」 パッチワーク通信社
 「幸福な日々があります」 作者：朝倉かすみ
 「有罪捏造」 作者：海川 直毅
 「あるじは家康」 作者：岩井三四二
 「もう、忘れたの？」 作者：酒井 順子
 「ソロモンの偽証 第2部」 作者：宮部みゆき
 「具材2つで！おいしい餃子」 作者：重信 初江
 「甲子園だけが高校野球ではない2」 作者：岩崎 夏海
 「日本の仏教を築いた名僧たち」 作者：山折哲雄
 「鴉浄土」 作者：澤田ふじ子

《児童書》

- 「ジャッキーのゆめ」 作者：あだちなみ
 「ジャッキーのはつこい」 作者：あだちなみ
 「けん玉の技123」 日本けん玉協会
 「オムライス・ヘイ！」 作者：武田 美穂
 「へそもち」 作者：赤羽 末吉

新刊図書おすすめ!!

『南十字星の誓い』 森村 誠一



亡き祖母から聞いた、貴重な文化財を守るため交戦中の国の人々が結束したという戦中秘話は、大人になっても由香の心に色濃く残っていた。彼らの物語を後世に伝えようと由香は祖母の足跡を追う。

『回廊封鎖』 佐々木 譲



連続する殺人事件には共通点があった。被害者は大手消費者金融の元社員、処刑のような殺害方法。久保田刑事が意外な犯人像に迫る中、新たな事件が…。

『ジャッキーのたからもの』 絵：あだち なみ 文：あいほう ひろゆき



おてんばジャッキーのいたずらに、おにいちゃんたちはかーんかん。おこられたジャッキーは家出してしまいます。でも、何もすることがないので、池のほとりでひと休み。宿題の作文「わたしのたからもの」のことを考えると…。

雪室でゆっくり熟成！

雪なごりの原酒、雪の科学館で長期熟成開始！



沼田町の雪中ブランド日本酒として町内外に広く人気の「雪なごり」の原酒の長期熟成が、12月12日（水）、町生涯学習総合センターゆめつくるに併設されている雪の科学館で始まりました。

今年の秋に収穫されたばかりの沼田産雪中米（きらら397）を原料として、高砂酒造の蔵元が丹精込めて醸造。沼田町に4,000ℓが運ばれ、3月中旬まで熟成されます。

雪の科学館の室温は2～5℃で、湿度は80%以上。安定した気温の中で熟成された原酒は味の角が取れてまろやかになり飲みやすく、高い湿度は風味を飛ばさないのに最適とのこと。

熟成を終えた雪なごりは、平成25年の4月頃から、数量限定の生貯蔵酒と通常火入れ酒の2種類として、町内の酒販組合加盟店などで販売される予定。雪

室への搬入に立ち会った高砂酒造の担当者は「高砂酒造の杜氏が腕によりをかけて作りました。来春の販売までしばしお待ち下さい」と、今年の雪なごりの出来に自信を覗かせていました。



二〇一二年十二月二十七日発行 発行者 北海道雨竜郡沼田町長 金平嘉則
◆まちのどんな情報でも構いませんので、ぜひお聞かせください。編集 総務課広報情報グループ 亀谷・小川 電話〇一六四―三五―二二一

今月号の赤ちゃんです。

すくすく育ってね！

舟橋 凛ちゃん（長女）
10月19日生まれ
お父さん 良太
お母さん 綾佳



（旭町西）

神薮 晃くん（次男）
10月23日生まれ
お父さん 太
お母さん 早智



（仲町西）

おくやみ

氏名	月日	年齢	住所
伊藤 元一さん	11月17日	73歳	共成
柏原 恭子さん	11月21日	58歳	緑ヶ丘
江田 秀雄さん	11月22日	90歳	旭町東
樋口 登さん	11月23日	77歳	共成
平田 一夫さん	12月7日	80歳	旭町西

人の動き

人口 **3,525人**（前月比 △4人）
（男性 1,661人 女性 1,864人）
65歳以上 1,288人（高齢化率36.5%）
世帯数 1,618戸（前月比 ±0戸）
○総人口増減内訳
増加…転入：4人 出生：2人
減少…転出：5人 死亡：5人
（平成24年11月30日現在）

交通事故死ゼロ

146日
継続中！

（平成24年12月1日現在）